

## 要 約

試験委託者： 環境省

表題： 2,6-ジ-*t*-ブチル-4-メチルフェノールのヒメダカ (*Oryzias latipes*) に対する初期生活段階毒性試験

試験番号： A080020

試験方法： 本試験は OECD Guideline for Testing of Chemicals 210 (1992) “Fish, Early-life Stage Toxicity Test” に準拠して実施した。

- 1) 供試生物： ヒメダカ (*Oryzias latipes*)
- 2) 試験用水： 脱塩素水道水
- 3) 暴露期間： 42 日間
- 4) 暴露方式： 流水式 (約 48 L/容器・日, 換水率：約 19 回/日)
- 5) 連数： 3 容器/試験区
- 6) 供試生物数： 60 個体/試験区 (20 個体/容器)
- 7) 試験温度： 卵・胚期：24±1℃  
仔魚・稚魚期：23±2℃
- 8) 照明： 室内光, 16 時間明 (1000 lux 以下) /8 時間暗
- 9) 給餌： 仔魚・稚魚に対しブラインシュリンプ 孵化幼生を 1 日 1~2 回飽食量与えた。
- 10) 試験濃度 (設定値)：

試験区	濃度 (mg/L)
対照区	—
助剤対照区	—
濃度区 1	0.010
濃度区 2	0.026
濃度区 3	0.067
濃度区 4	0.17
濃度区 5	0.45

公比：2.6

助剤：N,N-ジメチルホルムアミド, 100 µL/L (ただし対照区には使用せず)

- 11) 分析法： 高速液体クロマトグラフ質量分析 (LC/MS) 法

結果：

以下の結果は、被験物質濃度の測定値をもとに算出した。

最小作用濃度 (LOEC)： 0.139 mg/L (濃度区 4)

最大無作用濃度 (NOEC)： 0.0528 mg/L (濃度区 3)